

# 水資源機構の被災地支援活動

～ドローンを用いた朝倉市黒川地区の被災状況調査～

7月5日（水）からの九州北部における梅雨前線に由来する洪水被害について、自治体からの支援要請があったことから、水資源機構では、福岡県朝倉市、東峰村にリエゾン（災害対策現地情報連絡員）を派遣し、被災地の支援を行っています。

支援の一環として、朝倉市からの要請により、水資源機構はドローンによる被災状況の空撮調査を行いました。

このうち、7月8日（土）に朝倉市黒川地区で行った、ドローンによる調査状況について報告します。（別紙をご覧ください。）

平成29年7月11日

独立行政法人 水資源機構



発表記者クラブ

国土交通記者会

水資源記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 総務部 広報課長 河合

広報課 澤田

住所：埼玉県さいたま市中央区新都心11-2

電話：048(600)6513

別紙

調査は、佐田川と黒川の合流点からは徒歩で移動し、移動時間含め約6時間の調査となりました。

■朝倉市からの被災状況調査の要請を受けました。



写真一朝倉市役所での調査計画の打合せ



ドローン  
操作状況

※自衛隊・消防・警察のヘリコプターは、孤立者の人命救助に優先されている。被災状況の調査は、低高度を飛行できるドローンに期待されていた。

■黒川地区までは、道路が崩落しており徒歩での移動となりました。



写真一土砂崩れにより道路が崩落  
山を登り迂回して移動

■被災状況（地上から撮影）



写真一道路の大部分が崩落



■被災状況（ドローンによる空撮）



■今回撮影した状況を朝倉市に報告し、調査を終えました。